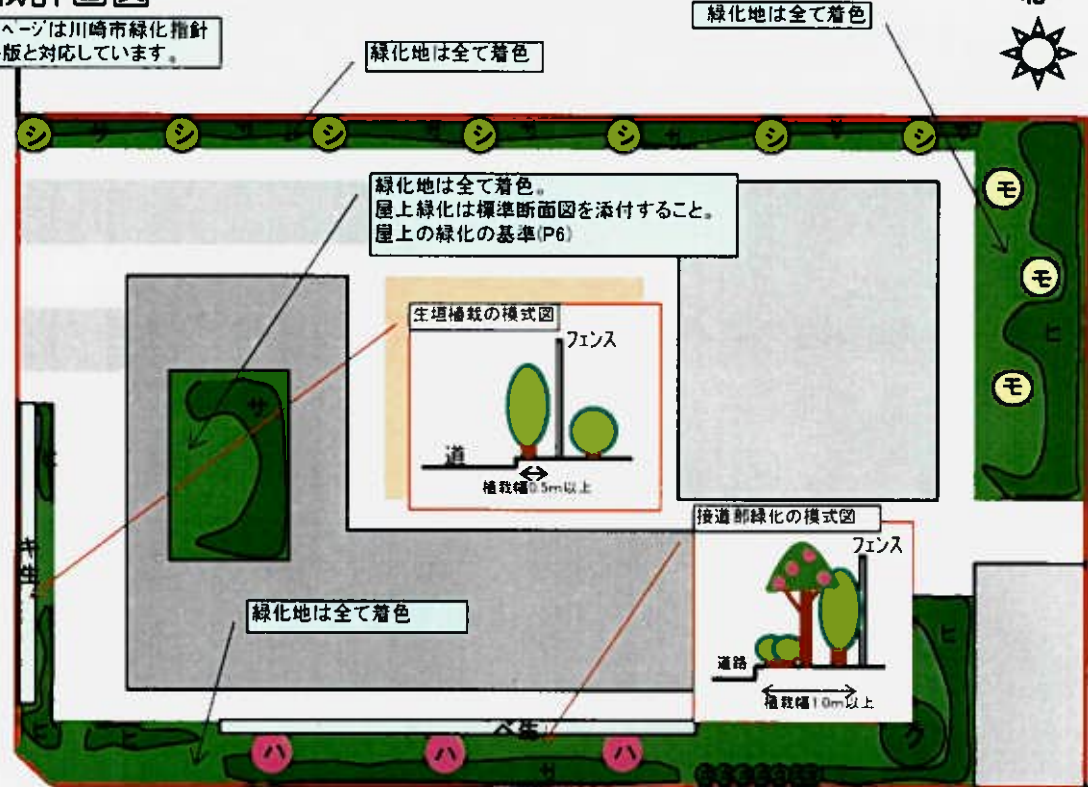


植栽計画図

縮尺 1/100~1/200を標準で作成。

※示したページは川崎市緑化指針ダイジェスト版と対応しています。



凡例、樹種名(P18)、規格(P4)、本数を記入。

高木

記号	樹種名	高さ	目通り	葉張り	本数	備考
ク	クスノキ	6.0	0.7	2.5	1	大景木
ハ	ハナミズキ	3.5	0.18	1.0	3	
モ	ハクモクレン	3.5	0.18	1.5	3	
シ	シラカシ	3.5	0.18	1.0	7	
					合計	14

中木

記号	樹種名	高さ	葉張り	本数	備考	
キ生	キンメツゲ	1.5	0.5	50	生垣	
ベ生	ヘニカナメチ	1.5	0.4	67	生垣	
キ	キンメツゲ	1.5	0.5	7		
					合計	117

低木

記号	樹種名	高さ	葉張り	本数	
ヒ	ヒトツツジ	0.3	0.4	250	
ア	アセビ	0.3	0.4	200	
サ	サツキツツジ	0.3	0.3	300	
				合計	750

植栽計画図 縮尺 1:250

緑の量的水準(計画すべき植栽本数)

植栽本数対象面積 = (緑化地面積 + 屋上緑化) = 282.50㎡ + 50.00㎡ = 332.50㎡

1㎡当りの高木等の本数基準(P5)

高木
 $332.50\text{㎡} \times 0.08\text{本}/\text{㎡} = 27\text{本以上}$
 最低必要本数
 $27\text{本} \times 1/2 = 14\text{本}$ (27本-14本=13本分は中木又は低木に振替可能)
 本計画本数
 14本 (27-14=13本は中木に振替)

中木
 $332.50\text{㎡} \times 0.16\text{本}/\text{㎡} = 54\text{本以上}$
 必要本数
 $54\text{本以上} + 13\text{本(高木の振り替え分)} \times 2\text{倍} = 80\text{本以上}$

低木
 $332.50\text{㎡} \times 0.48\text{本}/\text{㎡} = 160\text{本以上}$

※裸地については、地被植物等で緑化する計画とする

裸地については、修景効果、土壌の飛散防止、ヒートアイランド対策など様々な効果がありますので、裸地部分も積極的に緑化を行ってください。(P4) ※地被植物のみで構成されている緑化地は緑化面積に算入することはできません。

植栽樹木の考え方(P5)
 各樹木の比率は、下記の通り
 高木 中木 低木=1:2:6
 基準の高木1本を中木に振り替える場合は、中木2本、低木の場合は6本となります。
 また、各種樹木の振り替えを行う場合は、振り替えを行う樹木の基準本数の2分の1以上(少数点以下繰上げ)を植栽する必要があります。

注1) 緑の量的水準で算出される本数は標準(最低)の本数を示したものでありますので、個々の建築物のコンセプトや周辺環境との調和を考え、植栽計画を検討してください。